

雪と氷の写真で自然の大切さアピール

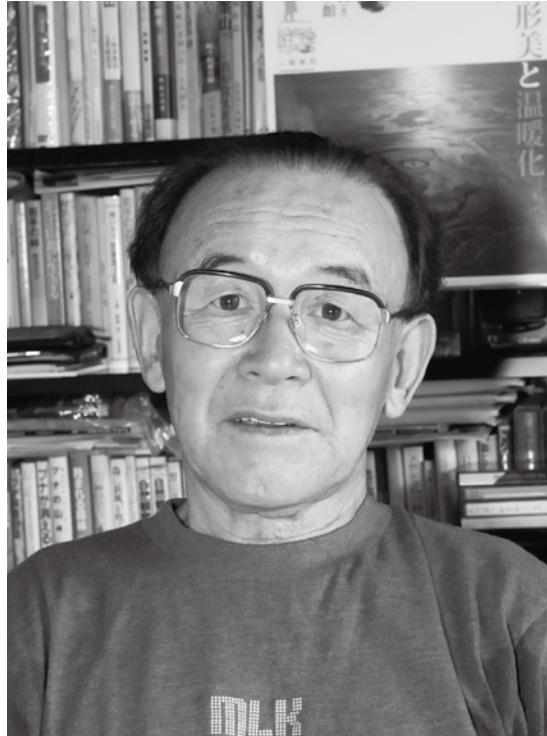
雪氷造形写真家

高橋 亭夫さん

毎年のように2月中旬から3月下旬に厳冬の北海道で、雪と氷が造り出す美しさを撮影している雪氷造形写真家・高橋さん(78歳・上野町)。撮影し続けた雪と氷の写真は地球温暖化による自然の変化を映し出しています。

高橋さんはもともとは登山家。高校生のころから登山を始めました。昭和48年と56年に、ネパール・ヒマラヤの氷壁でザイル(登山用の綱)を取り付ける金具アイスハーケン(氷に打ち込んで登る用具)の強度実験などを行い、登山事故防止に貢献したことで有名。この取り組みは山岳雑誌で紹介されました。

その後、雪と氷の写真を撮影し始めました。きっかけは雪崩研究家でエッセイストの故・高橋喜平との出会い。一緒に各地を回るうちに雪が造り出す美しさに魅せられ、雪氷写真を撮り始めました。



そして、61年からは北海道で撮影を始め、道東・道央を中心に、流水や洞窟内で落下した水滴のできる水筈(みづかじ)などを狙って撮影。雪と氷が作り出す美しさを写真に記録し続けてきました。しかし、最近、流水が姿を消したり、凍り付いていた滝の水や氷筈ができなくなったり、異変が目立つようになってきたそうです。

高橋さんは「温暖化は知らず知らずのうちに進んできた。海水温の上昇や記録的な激しい集中豪雨などが頻繁に起きている。生態系も崩れている」と話し、11月に行われる北上市民大学や今後いろいろな場で地球温暖化の現状、私たちはどうしていかなくてはいけないのかを訴えていきたいと話していました。

博物館だより

北上川の流れと共に③

企画展「南部藩の北上川舟運と黒沢尻河岸」



現在、北上川の流れと共に発展した黒沢尻河岸の歴史を紹介する企画展を開催中です。

南部藩の舟運規定が記された「黒沢尻御船所御定目」や艀船の安全航行に欠かせない「航路図」、当時の河岸のすがたを伝える「黒沢尻川岸絵図」など、常設展ではお目にかかれぬ貴重な資料を多数展示しています。会期は11月3日(木・祝)までとなっています。実りの秋、民俗村の散策をかねて足を運んでみてはいかがでしょうか。

博物館・みちのく民俗村 立花14-59 ☎64-1756
開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：12月1日～3月31日の期間は月曜休館(祝日などの場合は翌日)、12月28日～1月4日
※臨時休館日 9月26日(月)
入館料：一般500円、高校生240円、小中学生170円
(20人以上で団体料金となります)

もっと知ろう「きたかみ」のこと
北上市10大ニュース
平成3年～7年
.....

毎年恒例、一年を振り返る「市勢10大ニュース」。過去のトップ3にランクインした出来事をご紹介します、北上市のこれまでを振り返ります。

平成3年

- 【1位】
新北上市
誕生



- 【2位】北上コンピュータ・アカデミー開校
【3位】専修大学北上高校野球部が夏の甲子園に出場

平成4年

- 【1位】新生北上市の「基本構想」を策定
【2位】「地方拠点都市」の一次指定に内定
【3位】インターハイ主会場が北上市に決定

平成5年

- 【1位】異常気象で農作物被害100年来最悪に
【2位】21世紀を展望する市総合発展計画が決定
【3位】北上中部地方拠点都市地域の基本計画が承認

平成6年

- 【1位】秋田自動車道の北上西インターオープン
【2位】市民の憩いの場「詩歌の森公園」が完成
【3位】日本最大の鬼の展示館「鬼の館」が開館

平成7年

- 【1位】平成11年インターハイ岩手開催正式決定。主会場地の市でも準備本格化
【2位】市の人口、着実に増加し88,000人に到達
【3位】廃棄物処理場の建設に着手。市内全域で資源ごみを回収

中央図書館 ☎ 63-3359
江釣子図書館 ☎ 77-2215
和賀図書館 ☎ 72-2322



中央図書館のホームページ <http://www.library-kitakami.jp/>

《9月の新着本から》

- ▼ 一般書
悲しみの涙は明日を生きる道しるべ 柳田 邦男
ともしび～被災者から見た被災地の記録～ シュープレス編
節電・省エネの知恵123 箕輪 弥生
りんご一つにあと20円多く払えば、東北の農業は復興できる 鈴木 誠
今、日本人に知ってもらいたいこと 金子 兜太
- ▼ 児童書
宇宙の迷路 香川 元太郎
子ザルのみわちゃんとうり坊 深山 さくら
サッカーボーイズ15歳 はらだ みずき
ゆらゆら橋からおんみょうじ 広瀬 寿子
カメレオンを飼いたい！ 松本 祐子
おつきさま、こんばんは！ 市山 里美

《おすすめ新着本》



『アジアでハローワーク』

下川 裕治 著
パル出版

大学卒業後に現地で就職した人、起業した人、第二の人生の働き場所としてアジアを選んだ人など、35のストーリーを採り上げてアジアでの就職方法を紹介。



『おじいちゃんの手』

マーガレット・H・メイソン／文
フロイド・クーパー／絵
光村教育図書

「どうだ、ジョーゼフ、わしの手は」。さまざまなことを学び、闘ってきた自分の手を見せながら、おじいちゃんが孫に人生を語る感動作です。

《10月のイベント情報》

■おはなし会

10月9日(日) 午前11時～11時30分 中央図書館

■おはなし会スペシャル

10月14日(金) 午前10時～11時 江釣子図書館
エプロンシアター ほか